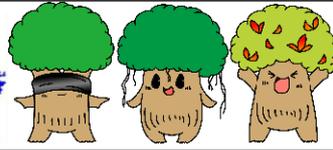




三本木



令和8年 2月 3日 (火)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396

いよいよ本番！白保っ子発表会

本日3日の児童鑑賞会兼リハーサルを終え、いよいよ**6日(金)**が**本番**です。今日はみんなに見られながらの発表で多少の緊張感があり、声が小さくなったり早口になったりセリフを忘れてしまったりした場面も見られました。自分たちで準備して演技し片付けるまで一通りの発表を経験し、また修正点を加えて練習し、3日後の本番を迎えます。金曜日を楽しみにしてください！



1月29日 さぶっこ食堂 大盛況！ 1月30日(金)八重山毎日新聞より

「旬家ばんちゃん」を運営する坂東さんご夫妻が「子どもたちが自分でご飯が作れるように、そして自分で作ったご飯を食べてもらう喜びが味わえるような食堂を作りたい」という話を持って来られたのは昨年12月のことでした。

同じく学校の旧校舎の老朽化に伴い、少しでも維持費用を捻出するために、クリアファイルと缶バッジを坂東さんのお店に置いていただくをお願いし快く引き受けていただいたのが昨年11月でした。このように、学校と地域の方との子どもたちの将来に向けた育成に対する共通の思いが一致し、今回の実現となりました。本当に喜ばしいことだと思います。

さぶっ子食堂は毎回調理と食事の希望を取り、月1回のペースで今後もオープンしていく予定です。

これを機に、地域の方々との繋がりが広がり、さぶっ子たちの夢が叶うような取り組みがどんどん広がればなあと思います。

早速翌日の早朝にNHKニュースでも取り上げられ放送されました。

<https://news.web.nhk/newsweb/na/nb-5090034028>



さぶっこ食堂で特製朝ごはんを味わう児童ら＝29日朝、白保小学校家庭科室



地元食材を使ったみそ汁とごはん。おかずには卵焼き、シマガツオと春菊の和え物と栄養満点＝29日朝、白保小学校家庭科室



坂東秀祐さんにならい、みそ汁の具材を切る児童ら＝29日朝、白保小学校家庭科室

坂東公美さんは「料理ができる子どもを育てるための食堂。長く続ける活動にしていきたい」と笑顔、秀祐さんも「おいしいものを作って食べる楽しさ、大切な人を喜ばせる気持ちを育ててもらえたら」と期待した。

内原牧宗さん(5年)は「できるだけいっぱい食べてほしいと思って作った。おいしく食べてくれてうれしい。また作りたい」と天満足。

赤嶺勇央さん(2年)は「全部おいしかった。皆で食べて楽しい気持ちになる。また来たい」とうれしそう。

さぶっこ食堂で朝食提供

白保小 児童が地元食材で調理

白保小学校(北田憲司校長、1うさひの5、6年生が朝ごはんを手作りして下級生にふるまう初の「さぶっこ食堂」が29日朝、校内の家庭科室で始まった。参加を希望した児童60人が地元食材を使った栄養満点の朝ごはんを通して作る喜び、食べる喜びを味わった。

開催を予定する。この日は午前6時45分から5、6年生20人が家庭科室に集まり、みそ汁とごはんの調理を開始。坂東夫妻の指導を受けながら、白保でとれた大根などの具材をカット。JAおきなわ八重山支店女性部のみそ汁こ

